

# 戦 評 用 紙

平成24年度全国高校総体埼玉県予選  
男子 決勝リーグ 第2戦

平成24年6月23日

会 場 深谷ビックタートル

H コート第4 試合

対 戦	正智深谷 高校	1 9	—	9	草加 高校
	9 4	2 6	—	1 5	5 1
		1 6	—	1 9	
		3 2	—	8	

1戦目で、昌平を圧倒し、波に乗る正智深谷と、川口北に土をつけられ踏ん張りどころの草加との一戦。

第1P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、両チームともに細かいミスが続き点数があげられない。ここから、正智深谷は、#9の連続3P、#8のジャンプシュートなどでリズムを掴み始める。対する草加も#5の1対1などで応戦するが、19対9と正智リードで終了。

第2P、外と内のバランス良い攻めをみせる草加であったが、正智の粘るディフェンスにより、なかなか点差を詰められない。残り3分、点差が20点となったところで草加ベンチタイムアウト。草加は#6の3Pなどで得点。対する正智は一気に突き放す流れが何度も来るが、イージーシュートを立て続けに外すなどミスもやや目立つ。それでも、相手ターンオーバーからの速攻を立て続けに決め、45対24とリードし前半終える。

第3P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンス。序盤から一進一退の攻防が続く。お互いハーフコートではあるが激しく粘り強く守る。草加はタイムアウトをはさんでフルコートのゾンプレスで追い上げをはかるものの、正智は#9のこの日5本目となる3Pなどで思うようにはさせない。しかしながら草加はこのピリオドでは完全に互角に戦う。

第4P、草加は立ち上がりからフルコートのディフェンスで追いすがろうとするが、正智は慌てることなく、落ち着いて対応。#8のシュートなどで確実に得点。ディフェンスも負けじとフルコートの展開をみせるなど、受け身に回らずにゲームの主導権を相手に渡さない。最後まで諦めずに必死に食らいつく粘りを見せた草加高校であったが、メンバーを入れ替えながらも懸命なマンツーマンディフェンスを貫いた総合力で上回る正智深谷が94対51で勝利を収め、2年連続のインターハイ出場を決めた。

(記録者： 川越東 高校 長原 康 )